

専用測量ソフト開発

丁張使わず構造物据付け

大成ロテックら

大成ロテックは、千代田測器（東京都台東区、平野啓太郎社長）、計測ネットサービス（東京都北区、佐藤哲郎社長）と共同で、丁張を設置せずに構造物の床掘りから据え付けに至る一連の作業が可能な専用測量ソフトを開発した。従来方法に比べて丁張作業が不要なため、施工の効率化が図られる。

丁張は、人力によって正確に建物の位置や高さを決める作業のことで、施工現場では作業の時間短縮が求められている。開発した専用ソフト「工事測量ガイダンスシステム側溝ナビ3D」は、LandXMLファイルやDXF図面、管理点などから設定した線形に導き出す機能を備えているほか、各種構造物の種類

や基礎などの設定も可能だ。このため、連続的に配置する必要がある道路側溝や縁石といった構造物に対し、データが組み込まれたタブレット端末を使用するだけで正確な位置に据え付けることが可能という。

（埼玉県鴻巣市）で同ソフトを使用して構造物の据え付け作業を行ったところ、従来手法と比べて施工コストを1割程度まで削減できたことを確認。現在は、モデル現場に適用して効果検証を行っているが、同社によると「使用頻度が増えれば、さらなる効率化が図られる」として



専用測量ソフトを使用した施工

いる。同ソフトは、千代田測器および計測ネットサービスの2社が代理店となって今年7月にも販売する予定。